

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第1回鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会
日時	令和6年5月22日（水曜日） 9時20分～10時00分（授業参観） 10時20分～11時10分（協議会）
場所	鶴ヶ島第一小学校 校長室
出席委員	熊谷茂会長、内野和江委員、三上光江委員、串田功委員、 町田尚司委員、古賀慎哉委員、奥隅侑子委員 吉澤充委員（鶴ヶ島第一小学校長）
欠席委員	竹島康史委員、西尾佑貴委員
事務局	松本靖久教頭、浅見里沙学校事務
議題	(1) 令和6鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会会長の選出について (2) 令和6年度鶴ヶ島第一小学校 学校運営協議会の趣旨と鶴ヶ島第一小学校の教育方針について (3) 令和6年度鶴ヶ島第一小学校運営等に係る意見交換 【熟議】学校応援団の人数を増やすにはどうしたらよいか (4) その他
配布資料	資料1 令和6年度第1回学校運営協議会次第 資料2 令和6年度第1回学校運営協議会資料 （学校教育目標及び学校運営方針等を掲載） 資料3 令和6年度年間行事予定表
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	令和6年度鶴ヶ島第一小学校 学校教育目標と運営方針及び目指す児童像等の詳細説明をさらに充実させるための意見交換会

【議事概要】

議題(1) 鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会会長の選出について

＜仮議長：前年度の熊谷茂会長（以降、仮議長と表記する）＞

選出の方法は、「立候補による方法」と「指名推選による方法」があるが、「指名推選による方法」でよいか提案した。

＜委員＞から

異議はなかった。

＜仮議長＞から

「指名推選による方法」としたいこと、推薦者を募った。

＜委員＞から

町田委員から熊谷委員の推薦があった。他の委員からも異議はなかった。

＜仮議長＞から

熊谷茂委員を会長に決定した。

～ここからは、会長が議長となって協議を行った～

<会長>

、令和6年度鶴ヶ島第一小学校の学校教育目標と経営方針及び目指すべき子どもの姿について話を進めた。

<校長>

配布資料の鶴ヶ島第一小学校グランドデザインについて説明した。

【説明要旨】

<学校経営方針について> 【グランドデザイン参照】

○学校教育目標…かしこく なかよく たくましく

○目指す児童像…

かしこく . . . 「確かな学力」

進んで学ぼうとする児童

学んだことを活かそうとする児童

話をよく聞き、よく考えて正しい判断・行動ができる児童

なかよく . . . 「豊かな人間性」

友達を思いやり優しくすることができる児童

友達に迷惑をかけないように考えて行動することができる児童

美しいことや素晴らしいことに感動することができる児童

たくましく . . . 「健やかな体」

元気に明るく過ごすことができる児童

苦しさになげずに、粘り強く最後まで頑張ることができる児童

状況を把握し、自分の命を守ることができる児童

○目指す学校像…やさしい言葉と笑顔があふれ、一人一人が輝く学校

～になりたい自分になれる学校～

○目指す教師像…

・進んで研修に励み指導力を向上させることができる教師 (かしこく)

・子どもや保護者との間に深い信頼関係を築くことができる教師 (なかよく)

・授業で子供を成長させる教師

・心身ともに健康でやる気と情熱をもって指導することができる教師

(たくましく)

<会長>

授業参観の様子を踏まえた意見交換をするよう伝えた。

<委員>

先生方の言葉遣いがよかった。黒板の字がきれいだった。先生は、昔と違って子供と同じ高さにいる。

<委員>

授業でコミュニケーションをたくさんとっているのでよく話せる子が育つ印象をうけます。

<委員>

教えるプロから学ばせるプロへ考え方の転換はよい。

<委員>

グランドデザインは、校長の熱意が伝わります。研究なくして指導なしだと考えるので、働き方改革の点で不安なこともあります。鶴一小学校全体を盛り上げていただきたい。子供たちは環境にも恵まれている。地域でも育てていきたい。

<会長>

令和6年度の学校経営方針等の承認について確認するとともに、本日の意見を今後の取組に活かしていくことが付言された。

<事務局>

事務局より熟議について説明をした。

【熟議】

地域とともにある学校づくりを目指して「学校、保護者、地域が連携協力して子供たちを育ませる」ために学校応援団の力を活用したい。学校応援団の人数を増やし活動の範囲を増やしたいがどうしたらよいか。

<会長>

応援団の人数が少ないのは鶴一小の課題。学校の働きかけが少ない。地域との関わり合いにも課題がある。新しい地区の人、昔ながらの人との関わりに差がある。

<委員>

他の学校では、シルバー人材の方にお金を払って草取りをしている。下校の旗当番のボランティアは増やしたい。

<委員>

下校は、今、スクールガード3人でまわしている。407号線は交通量が多いし、スピードも出しているので心配です。子供の命の危険を感じることもある。

<委員>

道草をしながら帰ってくるので、見守りの待ち時間が長くなる。

<委員>

児童の様子でうれしいこともある。上級生が下級生を助ける場面が見られた。

<委員>

学校応援団を知らない人のほうが多い。小学生のいる家が少ない。小学校に行っていないと手伝えないと思っている家庭が多いのではないかと。地域に知られていないので知らせるようにするとよい。どんな内容を応援団で募集しているのかわかるようにしてください。呼びかけ次第でやってくれる人もいそう。

<委員>

知っていただくことから始めたらいいのではないかと。自治会に文書をくばるとよい。

<委員>

コーディネーターの人が中心で動くとうい。学校の敷居が高く感じている方も多いのではないかと。興味のある人が、どんどん伝えて広めていく必要がある。鶴中にも声をかけるとよい。中学校の応援団の方にも声をかけていく必要がある。

<委員>

市民センターなど、サークル活動の方に直で連絡して手伝ってもらおうのはどう

か。毛呂山ではそのようにやっていた。個人を待っているだけでなく、団体に取り組みを紹介し、手伝ってもらおうようにするとよい。

<委員>

PTA では、本部役員さんは数多く学校に来て活動をしている。応援団として近い動きをしているが、PTA を懸念している保護者もいる。手間と時間をかけずに工夫するようにしている。

<校長>

学校の要望、お願いを伝える機会がコロナでなくなっていた。回覧板も回らない。ささえあい協議会と連携していきたい。

<会長>

話し合いの内容でできることはやってみてください。私たちも協力できるところは協力します。

<会長>

本日の日程は以上です。と閉会宣言をした。